

一般社団法人地理情報システム学会第 31 回理事会 議事録

開催日時： 平成 26 年 1 月 10 日 18 時 00 分～20 時 00 分

開催場所： 東京大学工学部 14 号館 802 号室

出席者： 浅見、矢野、巖、太田、関根、玉川、寺木（委任）、小口、小荒井、大佛（監事）

欠席者： 柴崎、吉川（監事）

議事

・開会

定刻 18 時 00 分に浅見泰司会長が議長を務め、開会を宣言した。次の通り過半数を超える理事の出席があったので、本理事会が定足数を満たし有効に成立した。

理事総数 10 名

出席理事数 9 名（うち一名委任）

・審議事項

第 1 号議案 日本学術会議議員及び連携会員の候補者に関する情報提供について。浅見会長から、情報提供のみで会員及び連携会員に選定されるとはあまり関係ないことが説明された。協議の結果、現理事と次期にも理事を継続する者から候補者を推薦することになった。情報入力は事務局が行うとした。

報告事項

報告 1 執務状況の報告

- ・ 小口財務担当理事から 4 月以来行った財務会計状況の報告があった。
- ・ 太田資格担当理事から GISCA の認定状況の報告があった。GISE 登録者数は 402 名に達した。2013 年 12 月 18 日に東京大学で GISCA 特別シンポジウムが開催され、充実したプログラムで 70 名が参加された。
- ・ 玉川渉外・大会担当理事から渉外関連の報告があった。「日本地球惑星科学連合大会」関連は動きなかった。2014 年度学術大会は 11 月 7 日（金）-8

日（土）中部大学で行われる。KAGIS に関しては、2014 年度 GISA がホストになる。台湾からの交流希望もあって、今後は特定の学会に拘らなく、GISA 国際セッションあるいは国際ワークショップにしていくのがよいとの議論があった。引き続き具体化していくとした。しばらく JST の査読システムに参加できないため、民間自動査読システムの導入可否について議論があった。現段階の投稿本数では大きなメリットがないようで、見送ることにした。

- ・ 小荒井支部／SIG 担当理事から関連報告があった。次年度支部／SIG の予算方針を議論した。

報告 2 Web 大会賞について。

- ・ 関根学会賞担当理事から Web 大会発表優秀賞の選定と結果の報告があった。Web 大会発表優秀者 5 名、ポスター賞 1 名、共に 2 割の採択率で選んだ。
- ・ 現行選考基準に、社会人学生は対象外、年齢は 30 才以下とあるが、その必要性和妥当性について、学会賞委員会で検討してもらうことにした。

報告 3 厳事務局長から入退会会費未納会員リストの報告があった。

その他 1 次回理事会は 2014 年 3 月 10 日 14 時～東京大学にて開催することにした。

その他 2 矢野副会長から IGU 京都大会は余剰金が発生したため、協賛各学会に寄付し、その振込は次年度になると報告された。

その他 3 厳事務局長から 2013 年 12 月 2 日に日本学術会議主催の「南海トラフ巨大地震に備えて」のシンポジウムに参加し、GISA を代表して発表したと報告された。

閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が 20 時 00 分に本理事会の閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、理事厳網林が本議事録を作成し、議長及び出席理事全員が記名押印する。

平成 26 年 1 月 10 日

一般社団法人地理情報システム学会

議長理事 浅見 泰司

出席理事 太田 守重

出席理事 小口 高

出席理事 巖 網林

出席理事 小荒井 衛

出席理事 関根 智子

出席理事 玉川 英則

出席理事 寺木 彰浩

出席理事 矢野 桂司

出席監事 大佛 俊泰